

第1回金沢競馬経営評価委員会議事(概要)

1 開催日 平成22年9月27日(月)

2 審議事項

(1) 委員長選任、委員長代理指名

① 委員長 石川県立大学参与 丸山利輔氏

② 委員長代理 弁護士 西徹夫氏

(2) 経営改善計画3カ年の業績について説明(主な項目)

① 平成19・20年度は、競馬開催による売得収益は減収となったが、場外発売の伸びや経費節減などにより、単年度収支は黒字

② 平成21年度は、競馬開催による売得収益は減収となり、場外発売の増加及び経費節減などを行い収支改善に努めたが、単年度収支は赤字

③ 平成22年度中間地点の収支は、競馬開催による売得収益及び場外発売は、共に減収となり、諸経費の削減に努めたが、3千万円の歳入不足

(3) 経営改善計画の新たな取組状況について説明(主な項目)

① レディースジョッキーズシリーズの開催(11/16)など、魅力あるレースの提供

② 地元芸能グループによるステージイベントの実施、スタンド内における禁煙エリアの拡大による快適な環境づくり

3 主な発言の概要

① 自場開催の売得額が下落し続けている。その原因・要因やリーマン・ショックによるものと通常的なものとに分けて分析し、下落に歯止めをかける努力をする必要がある。

② 競馬開催に係る損益分岐点を計算し、しっかりと競馬関係者に伝えるべきである。

③ 在宅投票が増加しても収益性が低いため経営的には良くならない。在宅投票の委託手数料の引き下げに向けて主催者が一丸となり、地方競馬全国協会など関係団体を巻き込んで強く要望すべきである。

④ 女性入場無料日の設定、授乳室の設置やポニー乗馬など、女性やファミリー層向けの取り組みを実施されているが、更に和やかに来場できる雰囲気にする必要がある。

⑤ 取り組んできた振興策のうち、手応えのあった施策又はなかった施策を分析し、今後の展開に生かすべきである。